

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		児童デイサービスぽがらなぎさ			公表日 令和7年3月		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5		遊びや活動、個別に応じて2階、個室を活用している。	個人に応じて静かに過ごせる場、静と動を同時に行える場と職員数(対応できる)(空間、広さ、安全面で)
	2	職員の配置数は適切である	3	4			送迎と課題、宿題、更衣、入浴等が重なり十分な対応が難しい時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4			午後出勤の職員にも参画を増やしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		年1回おこなっている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		ホームページに公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	1		第三者による評価はおこなっていない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3			研修の機会をさらに増やしていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		年2回をめぐりに面談をしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		子供たちの状況を職員間で伝えあっている。	アセスメントツールをもっと活用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	4		体を動かしたり勉強したりと色々な行事を入れている。	固定してしまう行事があったりするのではいろんな楽しめることを取り入れていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3			きめ細かいとはいえないところがある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4			午後出勤の職員にも伝えもれがないようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5			その日の間に話し合うことは難しいときがあるので振り返りの機会をもっと作るべき。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2			職員による。記録者は詳しく書いていけると良い。
関係機関や 保護者との 連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		定期的にモニタリングをおこなっている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	3			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			各学校の行事予定を頂いている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	3		医療的ケア児の利用はいいがないが必要に応じて整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	2		必要に応じて情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	3	児童館は利用させていただいている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	1		代表者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2		連絡帳や送迎時に伝えあっている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1		相談はあったときには対応していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	2		保護者会等現在ありません。保護者同士の話し合える機会があると良い。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2			苦情解決の巡回指導があり指摘事項ありました。また活用していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		毎月のおたよりは配付している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	1			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	3		地域交流できるイベントに参加をしていきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	1		配付や周知をしています。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3	1	年2回おこなっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			委員会の開催をしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		アセスメントの際に確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1		気づいたときに書けるようにする。